

二〇二五年 聖光学院中学校

- 一 ① 出資 ② 当事 ③ 所感 ④ 源泉 ⑤ 清算

- 二 ① はたし ② あび ③ かもし ④ いれる ⑤ かむ

三問問問問問  
一 二 三 四 五

A エ B オ C イ  
小説執筆の依頼を引き受ける気がないこと。  
(二十字)

X ウ Y エ  
父が自分の中に生きていることを叔母の言葉で自覚し、父に  
読ませたかったが父の死で執筆を止めていた『空色の闇』を完  
成させ、亡き父に手向けようと決意した、ということ。  
(八十字)

問問問  
八 七 六

オ オ イ

四問問問問問問  
一 二 三 四 五 六 七 八

A カ B オ C イ

エ オ  
状況によって作品の意味は変わるから。  
(十八字)

ウ  
形あるキノコに注目し、目に見えない菌類の活動に気付かな  
いこと。

ア  
完成した芸術作品だけでなく、作家が世界に投げかける問い  
や試行錯誤、第三者が作品に関わる中で生じる可能性など、作  
品価値の枠組みから外れるものをも評価すること。(七十八字)